

アシスト作動しない（ドアコントロールスイッチでは正常に作動する）

回路解説

パワースライドドアはスライドドアクローザコンピュータが制御し、スライドドアモータを駆動する。（アシスト作動とはドアハンドルでの作動のことを指す。）

配線図

05-897参照

点検手順

1 機能点検

(a) イーザークローザーは作動するか点検する。

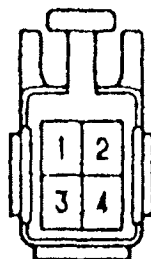
NG

スライドドアイーザークローザーシステムへ
（要領は05-793参照）

OK

2 スライドドア ロック リモートコントロールASSY LH単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



B31124

(a) ハンドルスイッチ点検

(1) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、コネクタ1端子⇔3端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	測定条件	基準
1 ⇔ 3	初期位置	導通なし
1 ⇔ 3	ハンドルを引く	導通あり

NG

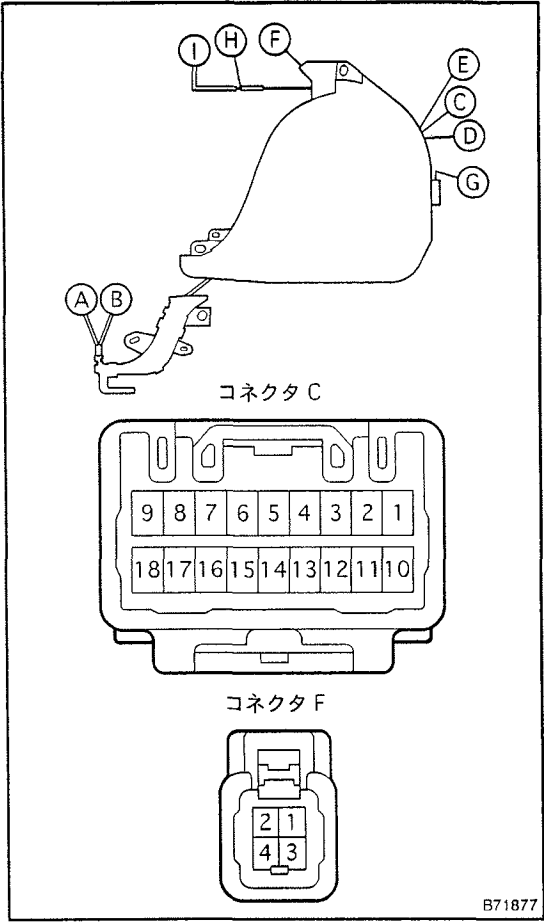
スライドドア ロック リモートコントロールASSY LH交換

OK

3

リヤドアワイヤ NO.2点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ C および F を切り離す。
- (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
C16⇔F 1	導通あり

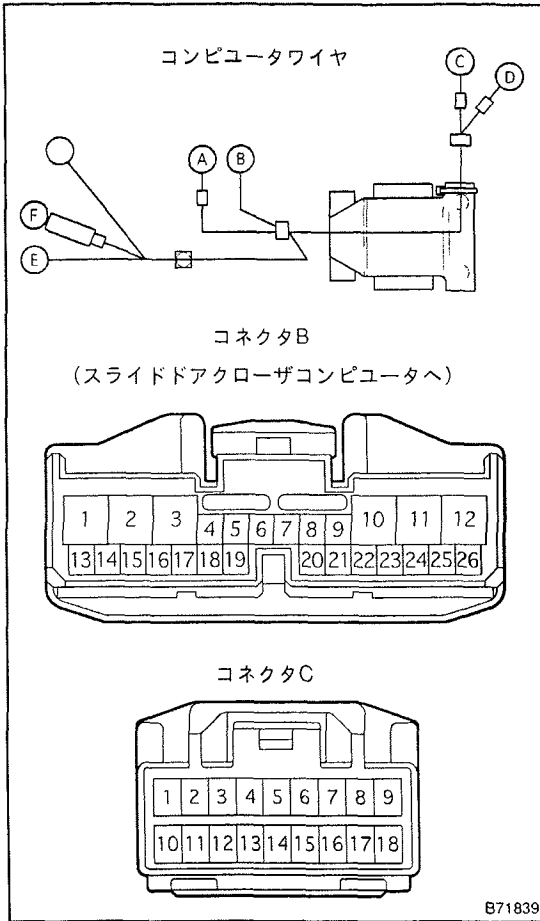
NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

4 コンピュータ ワイヤ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) コンピュータワイヤのコネクタCおよびスライドドアクローザコンピュータのコネクタBを切り離す。
- (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

端子番号	基準
C16⇔B8	導通あり

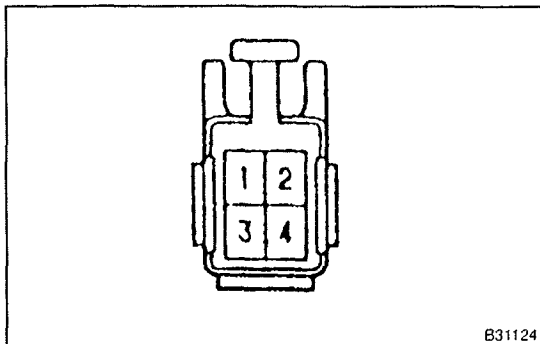
NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

5 ワイヤハーネス点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアロックリモートコントロールASSY LHのコネクタを切り離す。
- (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、コネクタ1端子⇔ボデーアース間の導通を点検する。

基準: 導通あり

NG

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ交換

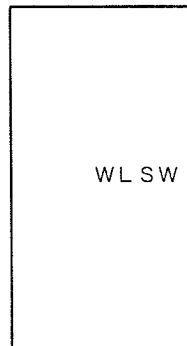
ワイヤレス機能のみ作動しない

回路解説

キーがイグニッションキーシリンダに差し込まれていない状態で、トランスミッタのスライドドアスイッチを操作したとき、ワイヤレス信号がボデーECUからスライドドアクローザコンピュータへ送信され、スライドドアモータASSYが駆動する。

配線図

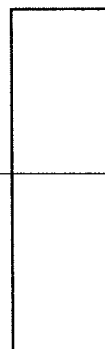
スライドドアクローザ
コンピュータ



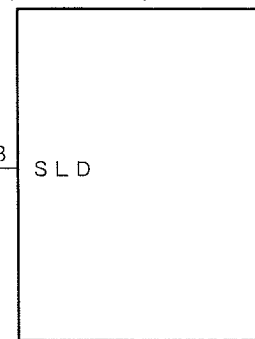
コンピュータ
ワイヤ



リヤドアワイヤNO.2
(常時給電ユニット)



インストルメントパネル
ジャンクションブロックASSY
(ボデーECU)



B6

C4

B12

T18

SLD

点検手順

1 ワイヤレスドアロック作動確認

(a) ワイヤレス操作で、ドアロック、アンロック作動を確認する。

NG

ワイヤレスドアロックコントロールシステムへ
(要領は05-769参照)

OK

2 ドアコントロールスイッチで作動確認

(a) ドアコントロールスイッチおよびハンドルスイッチ操作で、アシスト作動を確認する。

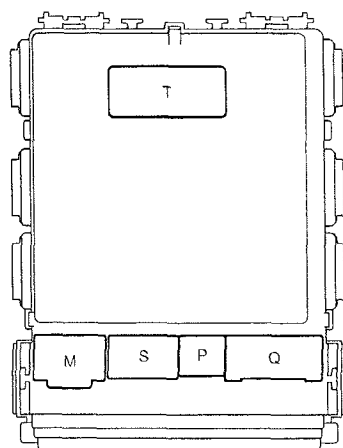
NG

他のフローチャートへ (要領は05-897参照)

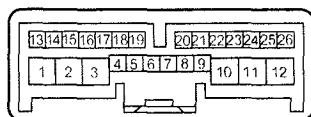
OK

3 インストルメントパネル ジャンクションブロックASSY点検

SST 09082-00030, 09083-00150

インストルメントパネル
ジャンクションブロックASSY
(ボデーECU)

コネクタT



B72496

(a) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、インストルメントパネルジャンクションブロックASSY (ボデーECU) のコネクタ各端子⇄ボデーアース間の電圧を点検する。

基準:

端子番号	測定条件	基準
T 18⇄ボデーアース	トランスミッタの PWR DOORスイッチ を押す→離す	10-14V→0V

NG

インストルメントパネル ジャンクションブロックASSY交換

OK

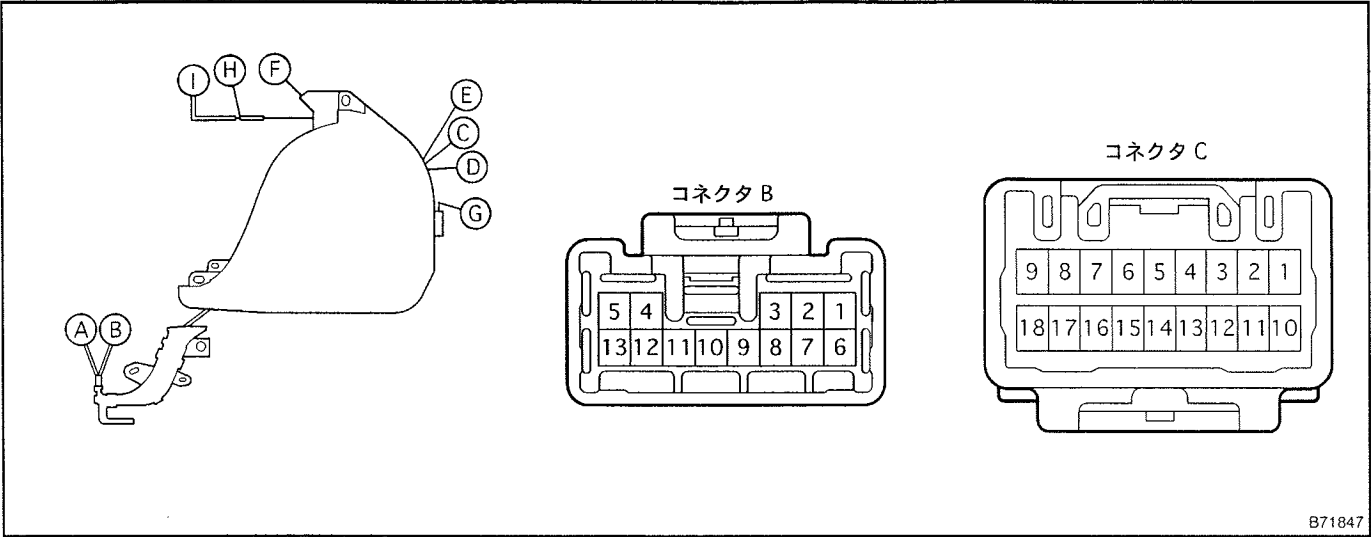
4

リヤドア ワイヤ NO.2単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

(a) 導通点検

(1) リヤドアワイヤNO. 2のコネクタBおよびCを切り離す。



(2) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、リヤドアワイヤNO. 2のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
B 12⇔C 4	導通あり

NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

5 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

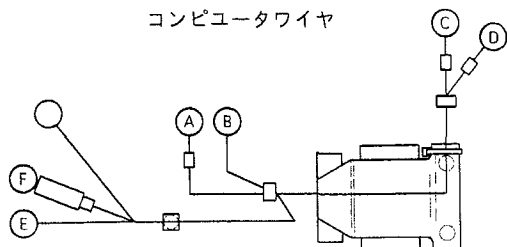
(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

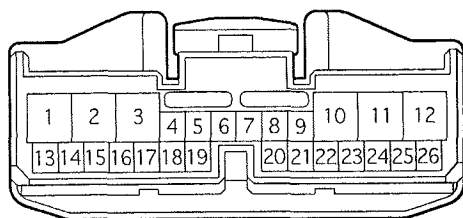
端子番号	基準
B 12 (コンピュータ) ⇔ C 4	導通あり

コンピュータワイヤ

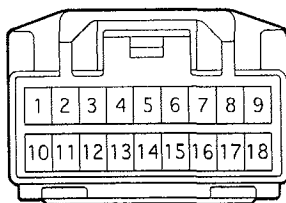


コネクタB

(スライドドアクローザコンピュータへ)



コネクタC



B71839

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

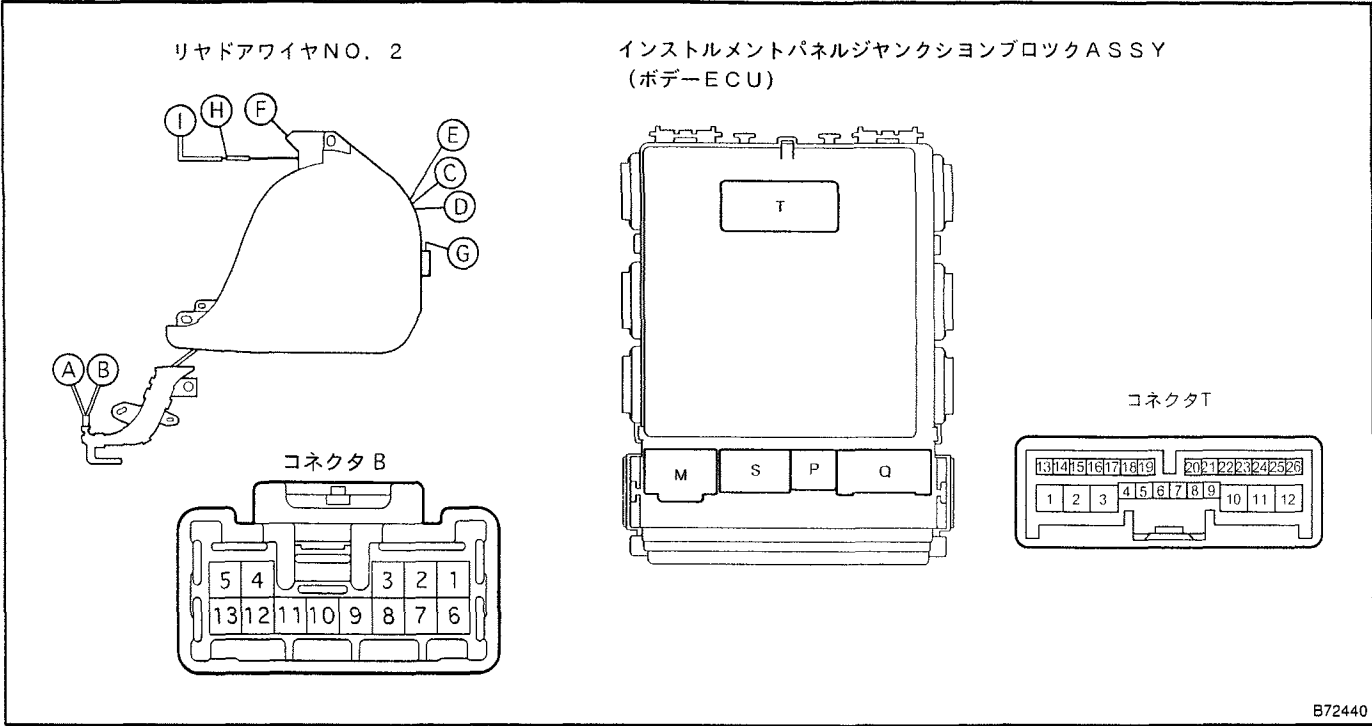
6

ワイヤハーネス点検

SST 09082-00030, 09083-00150

(a) 導通点検

- (1) リヤドアワイヤNO. 2 のコネクタBおよびインストルメントパネルジャンクションブロックASSY (ボデーECU) のコネクタTを切り離す。



- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、車両側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号 (リヤドアワイヤ⇔ボデーECU)	基準
B12⇔T18	導通あり

NG

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ交換

スライドドア開閉作動中に挟み込み防止機能が作動する

回路解説

パワースライドドアはスライドドアクローザコンピュータが制御し、スライドドアモータを駆動する。モータ作動中、挟み込み検知用のパワースライドセンサー（タッチセンサー）が接触し抵抗値が変化すると挟み込みを検知する。またパルスセンサによりドアの速度変化を検知し、速度変化があれば進行方向で挟み込んでいる物があると判断し、反転する。（開作動中は停止する。またイージークローザー作動中は半ドアで停止する。）

点検手順

1 目視点検

(a) 異物のかみ込みがあるかを点検する。

YES

異物除去

NO

2 作動点検

(a) 反転位置の確認

- (1) ドアコントロールスイッチASSY（メインSW）をOFFにし、スライドドアが反転する位置の周辺を手動でスライドドアがひっかかりなくスムーズ（重くならず）に開閉できることを点検する。

NG

建て付け調整（要領は75-26参照）

OK

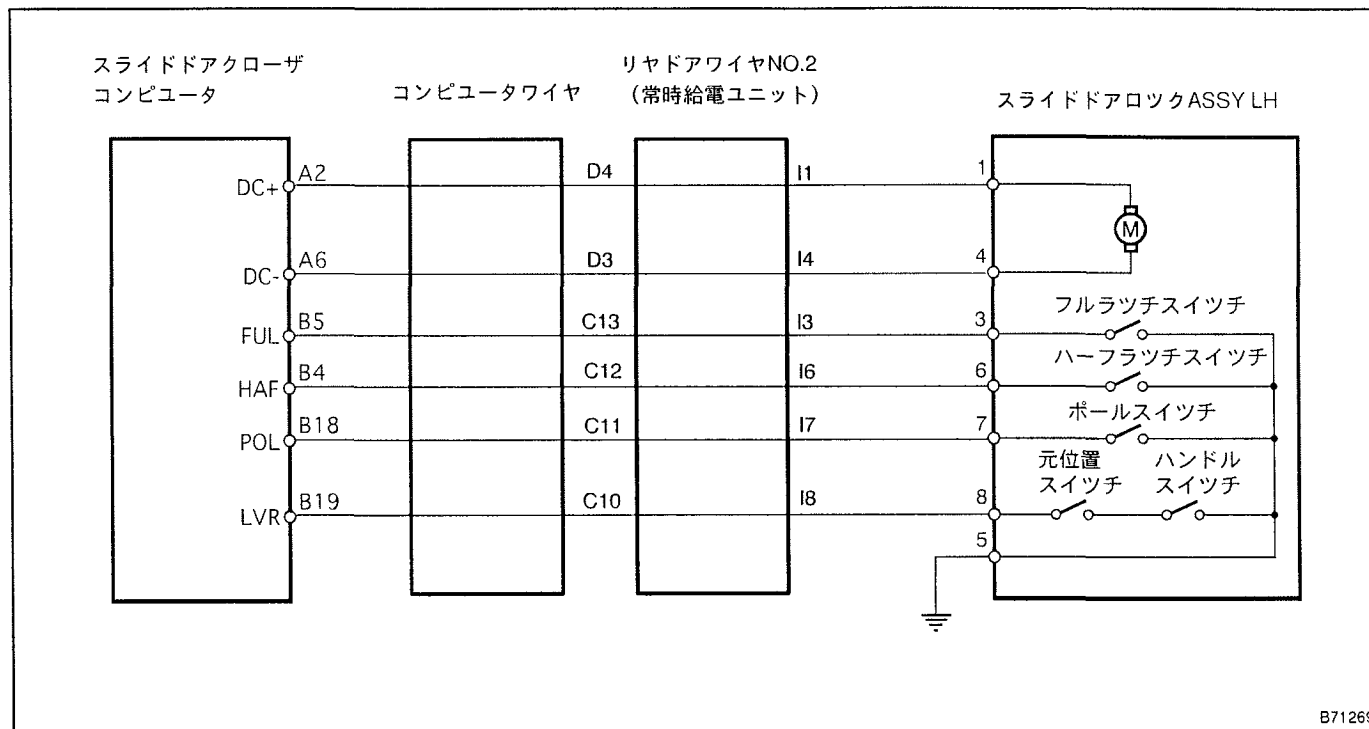
スライドドア クローザ コンピュータ交換

コード 1 - 3 が出力される

回路解説

この故障コードはスライドドアロック ASSY LH [ラッチスイッチ (フルラッチポジション)] が異常のときに出力する。

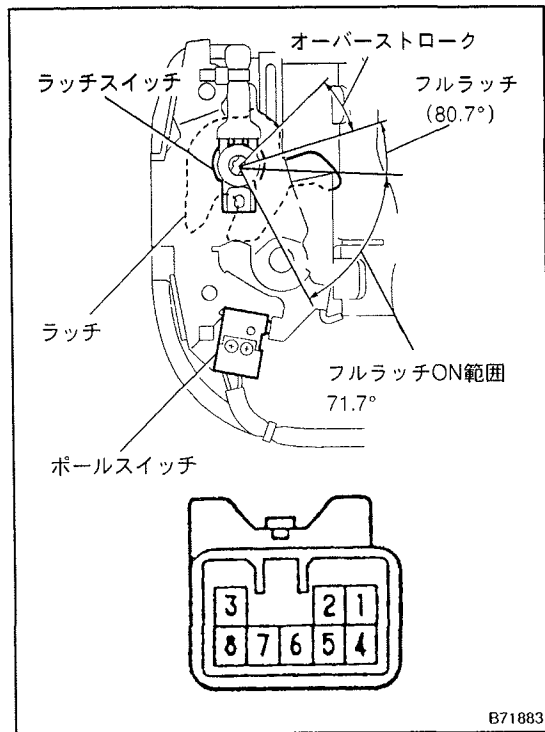
配線図



点検手順

1 スライドドア ロックASSY LH単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) ラッチスイッチ (フルラッチポジション) 導通点検

(1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、各ラッチ位置のとき、コネクタ端子間の導通を点検する。

基準:

ラッチ位置	端子番号	基準
フルラッチ	3 ⇄ 5	導通なし
フルラッチON範囲	3 ⇄ 5	導通あり
オーバーストローク	—	導通なし

NG

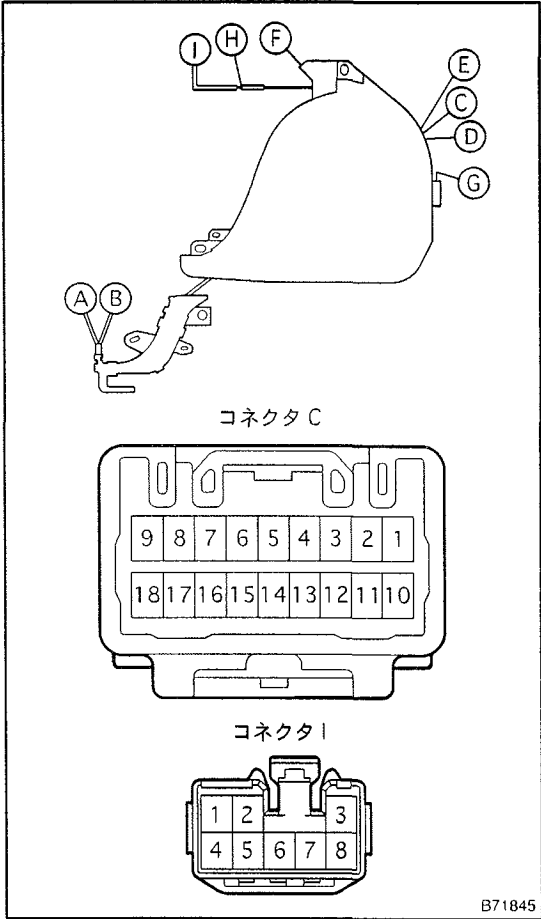
スライドドア ロックASSY LH交換

OK

2

リヤドア ワイヤ NO.2点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) リヤドアワイヤNO. 2のコネクタCおよびIを切り離す。
 - (2) SST（トヨタ電気カルテスター）を使用して、リヤドアワイヤNO. 2のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
I 3 ⇄ C 13	導通あり

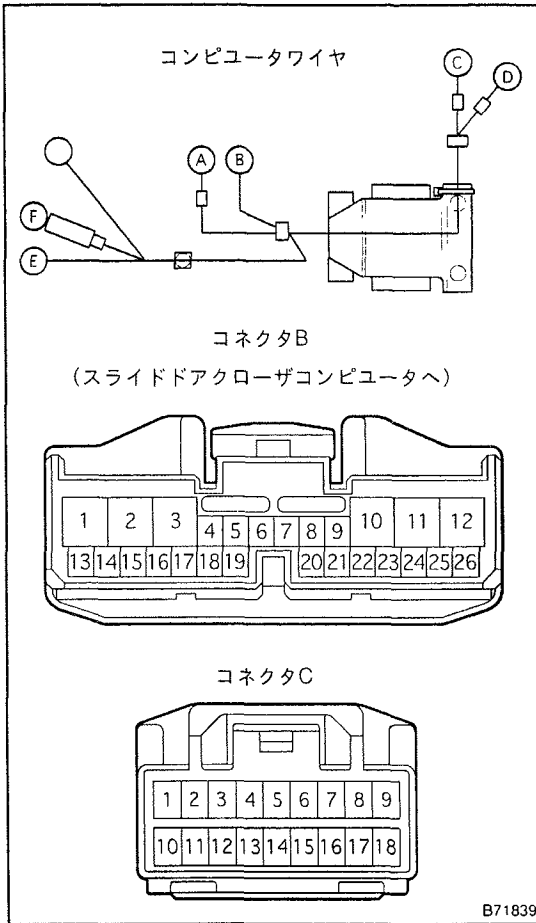
NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

3 コンピュータ ワイヤ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

端子番号	基準
B 5 (コンピュータ) ⇔ C 13	導通あり

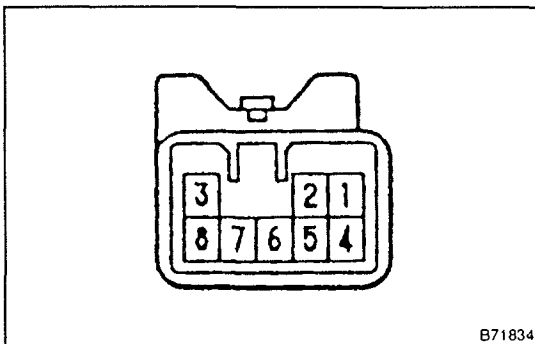
NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

4 ワイヤハーネス点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアロックASSY LHのコネクタを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、スライドドアロックASSY LH車両側コネクタ5端子⇔ボデーアース間の導通を点検する。

基準: 導通あり

NG

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ交換

コード 2 - 1 が出力される

回路解説

この故障コードはスライドドアロックASSY LH [ラッチスイッチ (ハーフラッチポジション)] が異常のときに出力する。

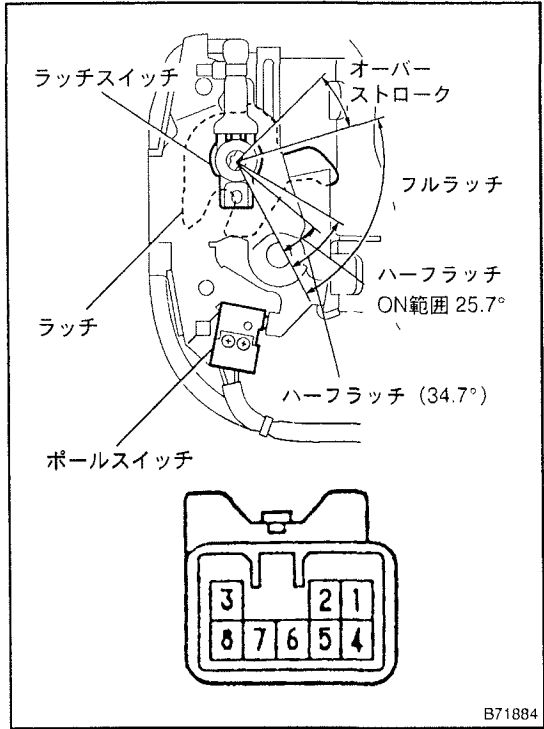
配線図

05-920参照

点検手順

1	スライドドア ロックASSY LH単体点検
---	-----------------------

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) ラッチスイッチ (ハーフラッチポジション) 導通点検
- (1) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、各ラッチ位置のとき、コネクタ端子間の導通を点検する。

基準：

ラッチ位置	端子番号	基準
ハーフラッチ	5 ⇄ 6	導通なし
ハーフラッチON範囲	5 ⇄ 6	導通あり

NG → スライドドア ロックASSY LH交換

OK

2 リヤドアワイヤ NO.2点検

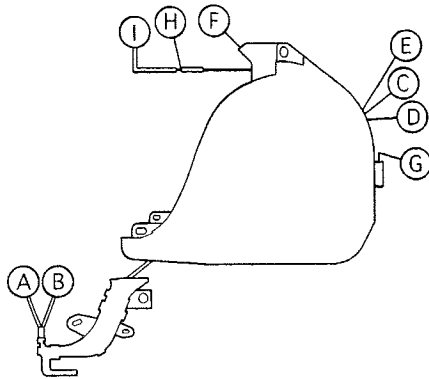
SST 09082-00030, 09083-00150

(a) 導通点検

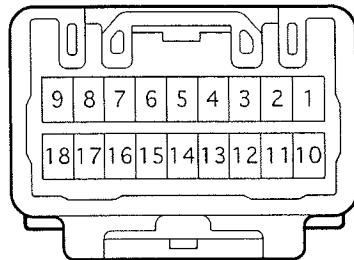
- (1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ C、I を切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

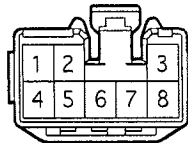
端子番号	基準
I 6 ⇔ C 12	導通あり



コネクタ C



コネクタ I



B71845

NG

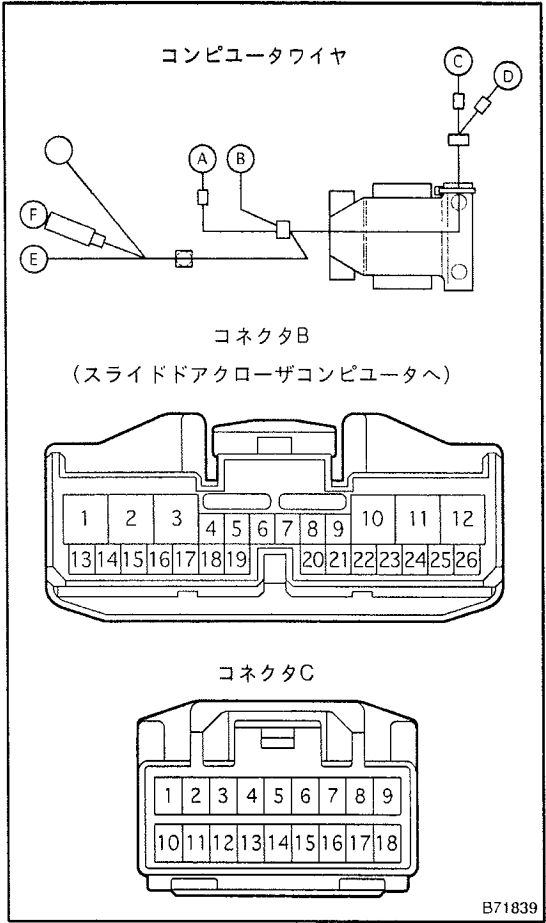
リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

3

コンピュータ ワイヤ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
 - (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準 :

端子番号	基準
B 4 (コンピュータ) ⇄ C 12	導通あり

NG

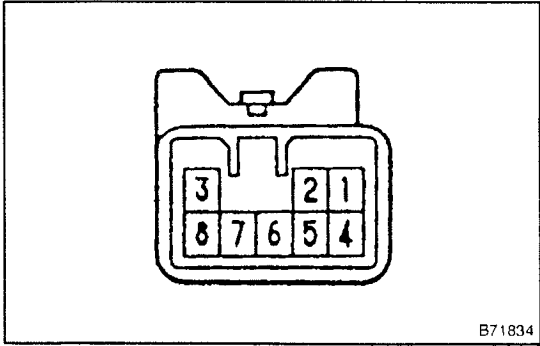
コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

4

ワイヤハーネス点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) スライドドアロックASSY LHのコネクタを切り離す。
 - (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、スライドドアロックASSY LH車両側コネクタ5端子⇄ボデーアース間の導通を点検する。

基準 : 導通あり

NG

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ 交換

コード 2 - 2 が出力される

回路解説

この故障コードはスライドドアロック A S S Y L H （ボールスイッチ）が異常のときに出力する。

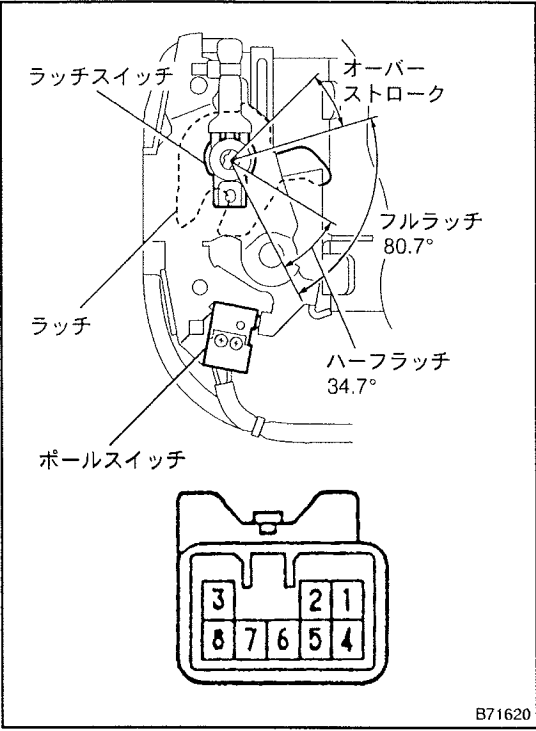
配線図

05-920参照

点検手順

1 スライドドア ロックASSY LH単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) ボールスイッチ導通点検
- (1) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、各端子間の導通を点検する。

基準：

測定条件	端子番号	基準
ボールスイッチOFF→ON時	5 ⇄ 7	導通なし→あり

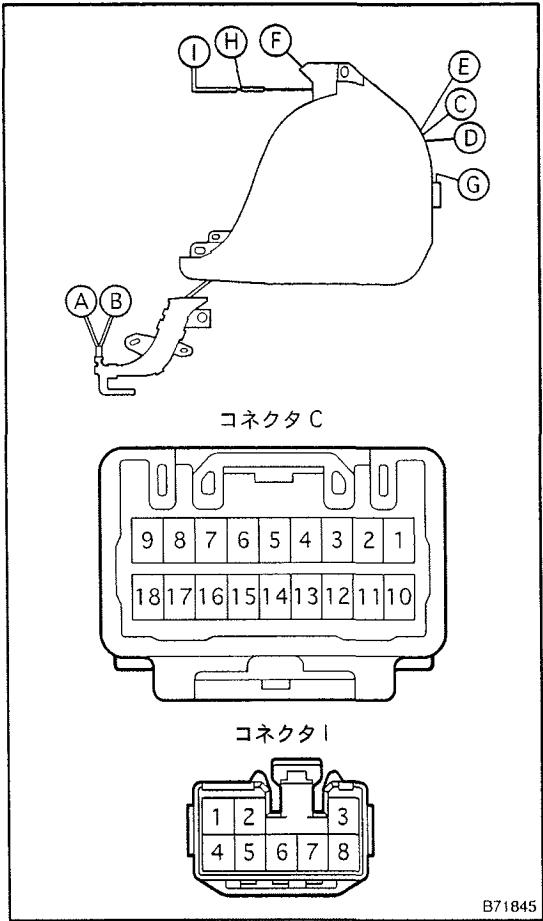
OK

NG スライドドア ロックASSY LH交換

2

リヤドア ワイヤ NO.2点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ C、I を切り離す。
 - (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
I 7 ⇄ C 11	導通あり

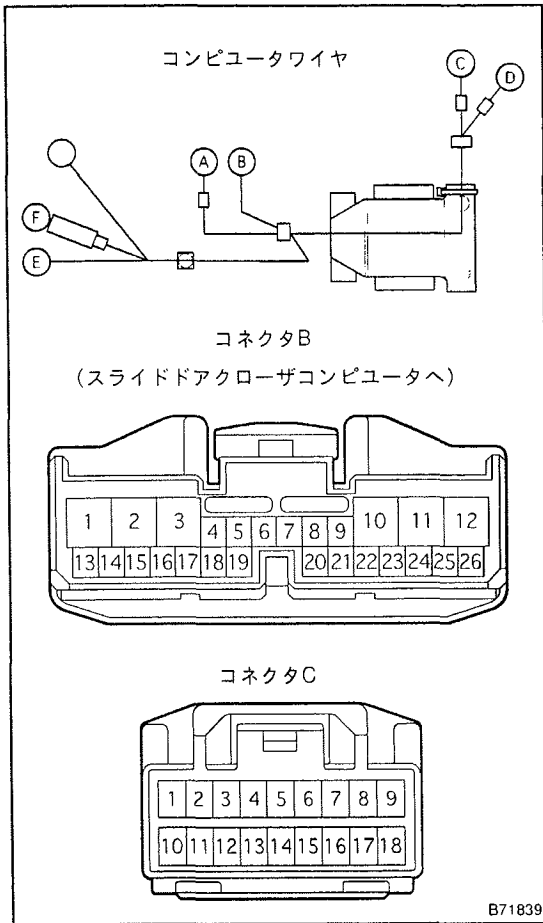
NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

3 コンピュータ ワイヤ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

端子番号	基準
B18 (コンピュータ) ⇔ C11	導通あり

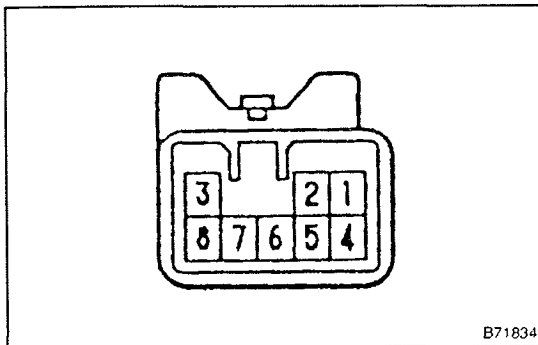
NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

4 ワイヤハーネス点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアロックASSY LHのコネクタを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、スライドドアロックASSY LH車両側コネクタ5端子⇔ボデーアース間の導通を点検する。

基準: 導通あり

NG

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

OK

スライドドアクローザコンピュータ交換

コード 2 - 3 が出力される

回路解説

この故障コードはスライドドアロックASSY LH（元位置スイッチ）が異常のときに出力する。

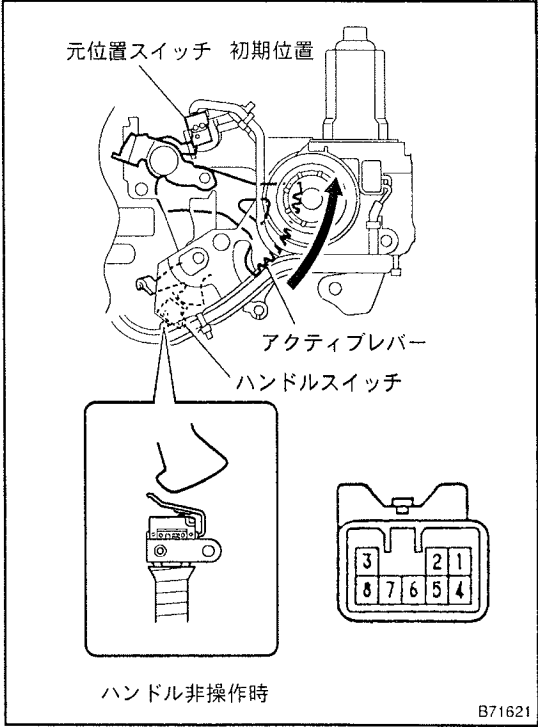
配線図

05-920参照

点検手順

1 スライドドア ロックASSY LH単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 元位置スイッチおよびハンドルスイッチ等通点検
基準：

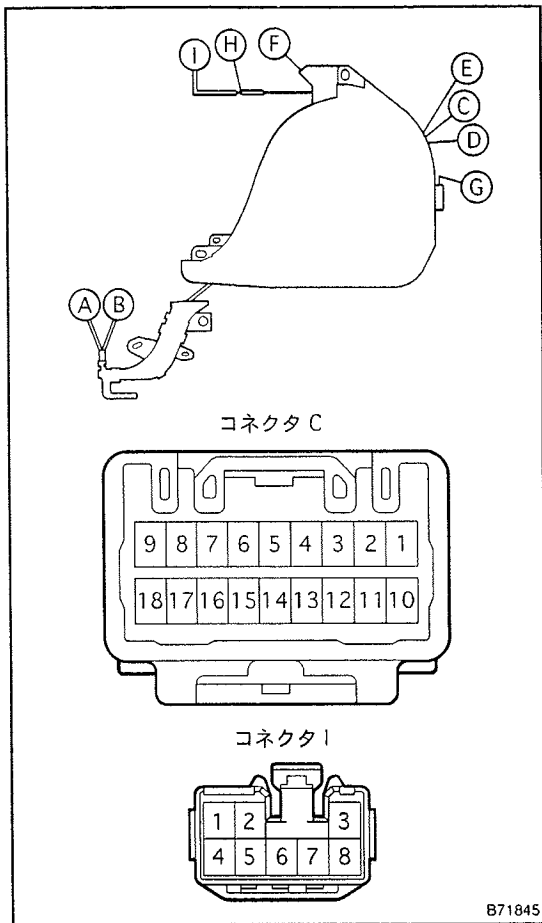
元位置スイッチ状態	ハンドルスイッチ状態	基準
OFF (アクティブレバー初期位置)	ON (ハンドル初期位置)	8⇔5 端子間 導通なし
OFF (アクティブレバー初期位置)	OFF (ハンドル操作時)	8⇔5 端子間 導通なし
ON (クローザ作動時)	ON (ハンドル初期位置)	8⇔5 端子間 導通あり
ON (クローザ作動時)	OFF (ハンドル操作時)	8⇔5 端子間 導通なし

NG スライドドア ロックASSY LH交換

OK

2 リヤドアワイヤ NO.2点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ C、I を切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
I 8 ⇄ C10	導通あり

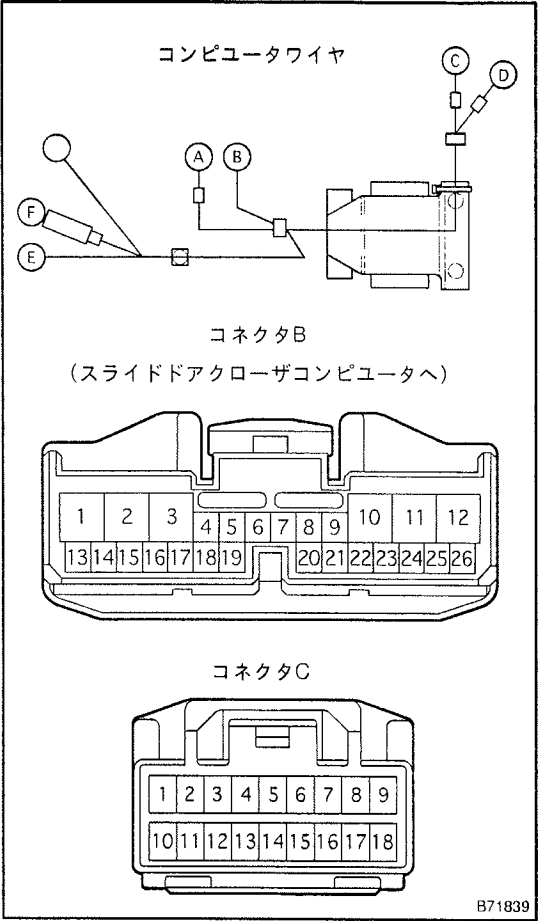
NG

リヤドアワイヤ NO.2修理または交換

OK

3 コンピュータ ワイヤ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
 - (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準 :

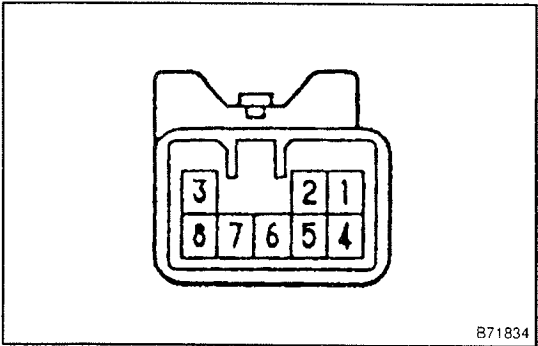
端子番号	基準
B19 (コンピュータ) ⇔ C10	導通あり

NG コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

4 ワイヤハーネス点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) スライドドアロックASSY LHのコネクタを切り離す。
 - (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、スライドドアロックASSY LH車両側コネクタ5端子⇔ボデーアース間の導通を点検する。

基準 : 導通あり

NG ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ交換

ニュートラルスタートスイッチ回路

回路解説

ニュートラルスタートスイッチ A S S Y のスイッチ信号をスライドドアクローザコンピュータが受信する。

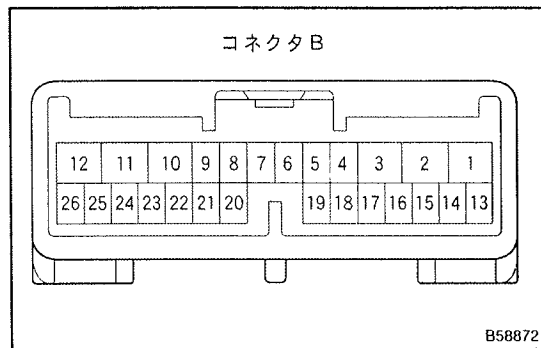
配線図

05-897参照

点検手順

1 スライドドアクローザコンピュータ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 電圧点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタ B を切り離す。
- (2) S S T (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、スライドドアクローザコンピュータ車両側コネクタ B 7 端子⇔ボデーアース間の電圧を点検する。

基準：

端子番号	測定条件	基準
B 7 ⇔ ボデーアース	I G スイッチ ON、 シフトレバー P レンジ	10-14 V
B 7 ⇔ ボデーアース	I G スイッチ ON、 シフトレバー P レンジ以外	0 V

OK

スライドドアクローザコンピュータ交換

NG

2 ニュートラルスタートスイッチ単体点検 (要領は 05-333 参照)

SST 09082-00030, 09083-00150

NG

ニュートラルスタートスイッチ交換

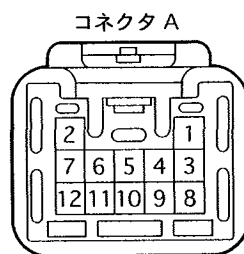
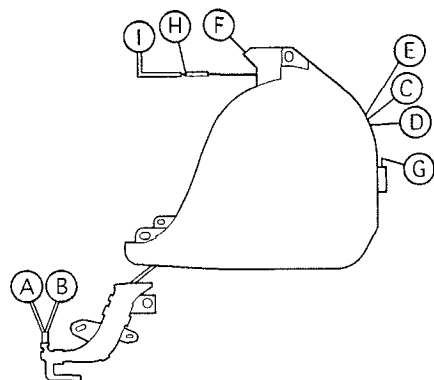
OK

3 リヤドアワイヤ NO.2単体点検

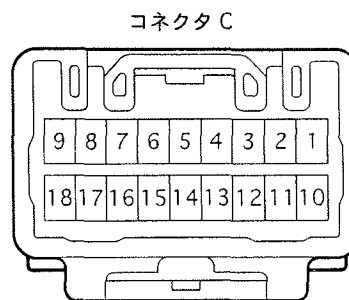
SST 09082-00030, 09083-00150

(a) 導通点検

(1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ A および C を切り離す。



コネクタ A



コネクタ C

B71846

(2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
A 8 ⇔ C 7	導通あり

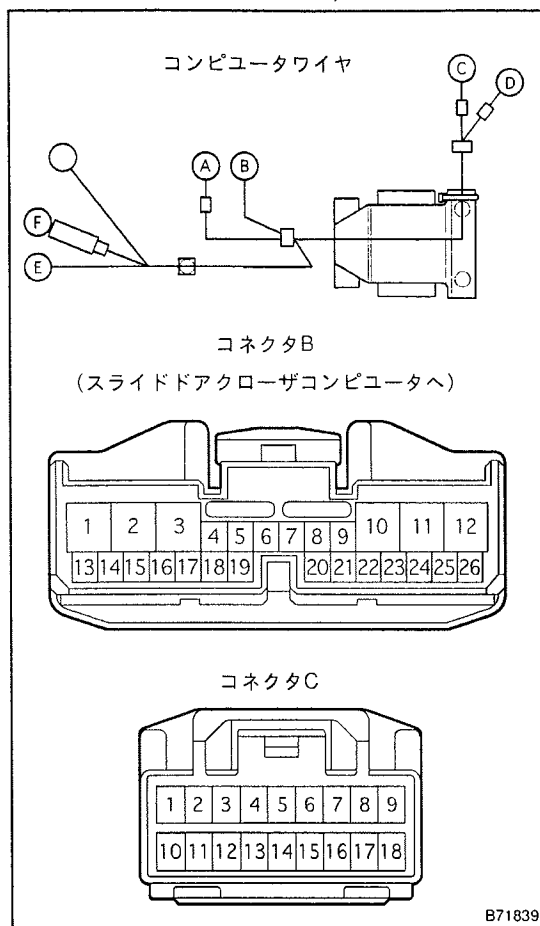
NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

4 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
B 7 (コンピュータ) ⇄ C 7	導通あり

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

パーキングブレーキスイッチ回路

回路解説

パーキングスイッチASSYのスイッチ信号をスライドドアクローザコンピュータが受信する。

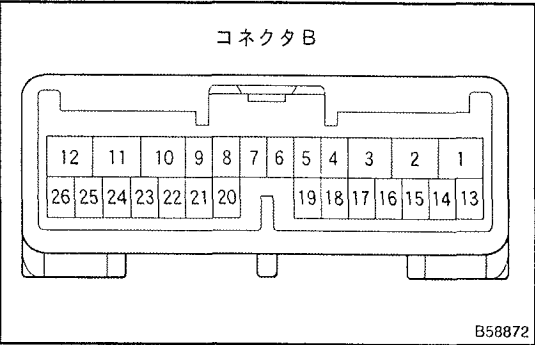
配線図

05-897参照

点検手順

1 スライドドアクローザコンピュータ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタ B を切り離す。
 - (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、スライドドアクローザコンピュータ車両側コネクタ B 15 ⇄ ボデーアース間の導通を点検する。

基準：

端子番号	測定条件	基準
B 15⇄ボデーアース	パーキングブレーキを踏んだとき	導通あり
B 15⇄ボデーアース	パーキングブレーキを戻したいとき	導通なし

OK → スライドドアクローザコンピュータ交換

NG

2 パーキングブレーキスイッチASSY単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

- (a) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、スイッチのシャフトを操作したときの、パーキングブレーキスイッチASSY ⇄ ボデーアース間の導通を点検する。

基準：

スイッチのシャフトがフリーの時……導通あり
スイッチのシャフトを押し込んだ時……導通なし

NG → パーキングブレーキスイッチASSY交換

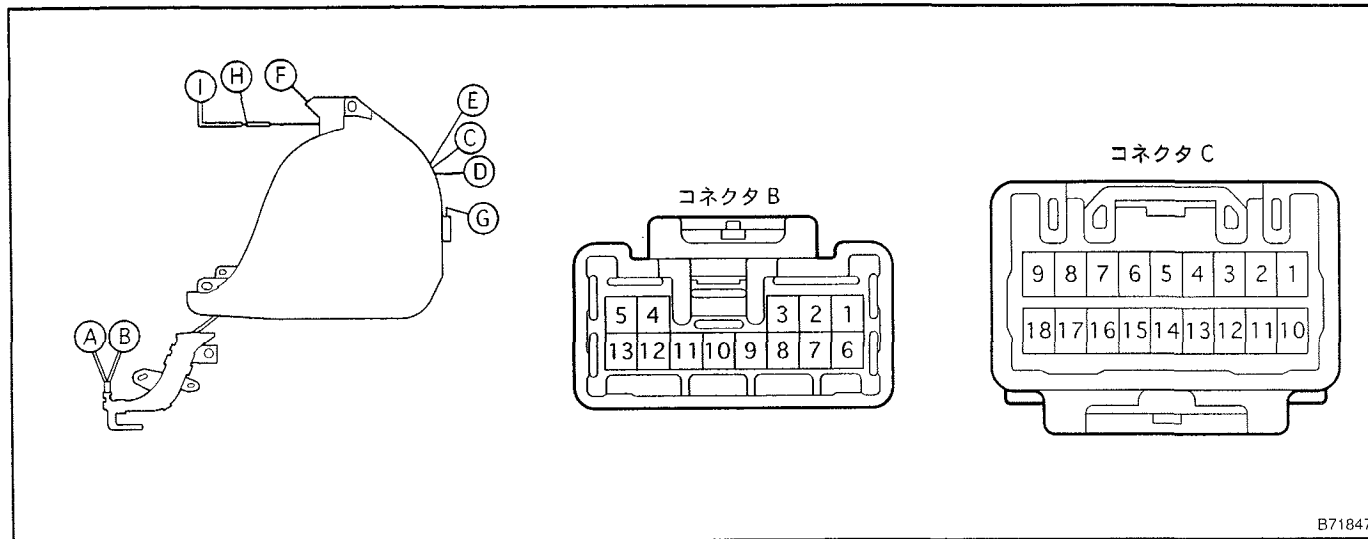
OK

3 リヤドアワイヤ NO.2 単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

(a) 導通点検

(1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ B および C を切り離す。



(2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
B 6 ⇄ C 5	導通あり

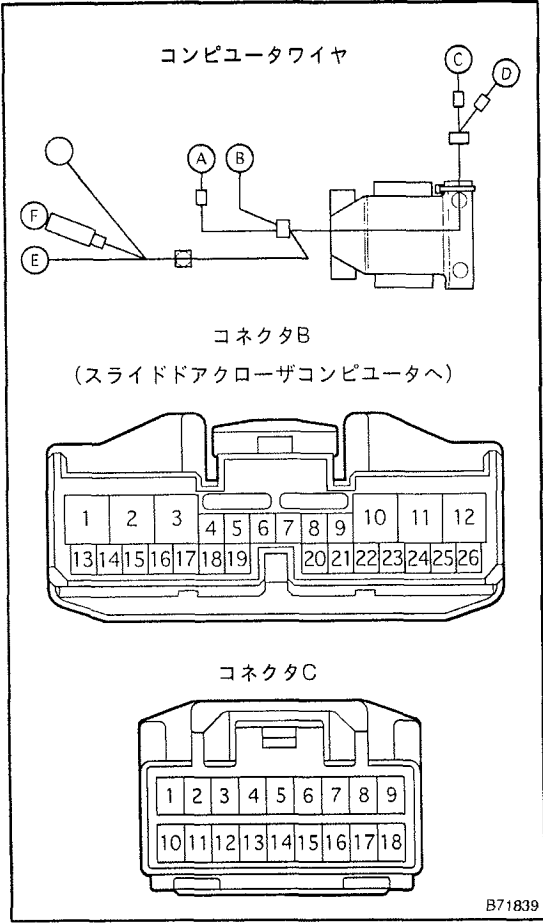
NG

リヤドアワイヤ NO.2 修理または交換

OK

4 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準 :

端子番号	基準
B 15 (コンピュータ) ⇔ C 5	導通あり

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換